

黄熱予防接種を受ける方へ

黄熱病は黄熱ウイルスをもった蚊に刺されることで感染します。発熱、寒気、頭痛、筋肉痛、吐き気等の症状があらわれ、症状に合わせた治療をしますが、重症化すると致死率(20%~50%)が高いため、ワクチン接種による予防が最も重要です。

【接種後の注意事項】

- ① **急激な副反応は、接種後 30 分以内に起こります**
副反応に備え 30 分間は待機して頂き、様子を見ます。
- ② 接種当日はいつも通りの生活をして頂いてかまいません
激しい運動はしないで下さい。
入浴してもかまいませんが、接種部位を強くこすらないで下さい。
- ③ 数時間後から約 12 日目の間に、接種部位の発赤や腫れ、発熱、頭痛、筋肉痛、背部痛、全身倦怠感、じんましん等の症状がでることがあります。通常 2~3 日中におさまり、心配のないことがほとんどです。
- ④ まれに重い副反応(約 40 万回の接種に対して 1 回程度)が生じることがあると報告されています。高齢者、免疫機能の低下した人では、このような副反応の頻度が高くなるといわれています。
高熱、けいれん、その他の異常な症状が出た場合、速やかに医師の診察を受けるとともに、当検疫所にご連絡下さい。
- ⑤ 1 回の接種で生涯有効となります。1 ヶ月以内に医療機関を受診する際は、予防接種を受けたことを伝えて下さい。他の予防接種は 4 週間以上の間をあける必要があります。

